

第64回 総会のご案内

薫風に新緑がそよぐ気候となり、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回は久しぶりに郷里より来賓をお招きし、ほぼ従来通りに賑賑しく総会を開催いたします。

会員の皆様、大変お待たせいたしました。

会場はお馴染みの東京グリーンパレスです。

皆様お誘い合わせの上、多数のご参加を心よりお待ちしております。

~第64回 東京片貝会総会 開催要領~

日時 令和5年6月25日(日)

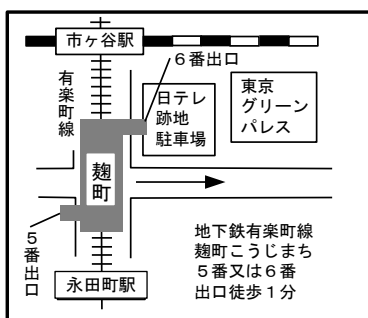
午後1時~4時

(正午より受付)

会場 東京グリーンパレス

東京都千代田区二番町2

03-5210-4640



会費 8,000円

感染予防対策

(1) 出席者は、新型コロナウイルス感染症ワクチン3回以上接種済であること、または陰性証明されていること。

※ご自身による自主点検とし、証明書類の持参は無用

(2) 当日、発熱や体調不良がみられる場合は出席をお控えください。

(3) 会場入場時は手指消毒され、会場内でのマスク着用は個人の判断とします。

出欠はこの会報に同封の返信用ハガキにて6月9日(金)までに到着するようにご返信をお願いします。

お問い合わせ先 会長 安達亮一

050-3552-9801

ryoichi.adachi@tokyo-

katakaikai.net

■7月には納涼会も■

久しぶりの総会だけでなくさらに顔を合わせて盃を重ねませんか。次のとおり納涼会を催します。お気軽にどうぞ。

日時 令和5年7月22日(土)

午後5時より

会場 吉池食堂(御徒町・吉池9階)

(「片貝納涼会」で予約)

問合せ news@tokyo-katakaikai.net

090-8558-1262(徳永)

ホームページはこちら

(▼このQRコードから)



<https://tokyo-katakaikai.net>

会の動き

理事会 2022/12/11

於 新潟県人会館

安達会長以下8名

・会報確認

・発送準備

理事会 2022/12/17

於 新潟県人会館

安達会長以下7名

・会報発送

理事会 2023/4/16

於 新潟県人会館

安達会長以下9名

・総会開催要領について討議

LINE グループ

「なじらね片貝」

会員と地元片貝の最新情報をスマホにお届けします



◀こちらのLINEアカウント(理事の友田啓(あきら)さん)まで氏名と「なじらね片貝参加希望」を添えて

メンバーどうしの投稿例▶



朗志会(30年卒)では「傘寿を祝う会」を10月31日に越後湯沢温泉で一泊二日で開催しました。各方面から四十名の参加で二日間語り合い楽しく過ごしました。朗志会 本田紘一郎

皆様にお会いできる日が来ることを願っております。朗志会 安達弘之

十九伸会 本田利美と申します。祝古希の同級会も、コロナのため延期、残念です。同級生の元気な顔を見るまで、健康でありたいと願っています。

皆様に見える日を楽しみにしています。十九伸会 吉田邦男

総会へのお越しをお待ちしています

(前号会報で募集しHPに掲載したメッセージの一部を再掲しました。)

六月の総会が無事開催されるよう祈っております。おかげ様で私、今の所健康でラジオ体操、散歩等で元気に過ごしております。若杉会 佐藤祐一

今年こそは総会で皆様にお目にかかれることを願っております。福寿会 藤塚 伸雄

通常通りに開催される総会などの集まりや片貝祭で皆さんとお会いするのを心待ちにしています。永遠会 本田秀幸

【東京片貝会へご寄付】(令和4・11~令和5・3)

下記の方々から会へのご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。(敬称略) 阿部修次(21)、大塚順一(22)、溝手俊一(26)、石橋行夫(27)、安達 隆(28)、野崎真知子、松本 キイ(29)、大塚 國夫(31)、安達 弘(33)、工藤 イツ(35)、木村隆(36)、田川 鈴子、本田 秀幸、松井 京子(37)、小野塚 和夫、芝 強(38)、相崎 俊夫(40)、安達 徹、阿部 清(41)、安達 亮一(42)、内藤富美子(43)、藤塚 伸雄(48)、徳永 隆浩(52)、堀井ひとみ(54)、相崎清輝(57)、友田 啓(58)

会員各位のご健康とご多幸をお祈り申し上げますと共に通常に再会出来る日が一日も早く訪れる様願っております。令和五年元旦 十九伸会 小野塚 和夫

片貝はじめ各地の祭りや大会を彩る花火の製造と打揚げひと筋の(有)片貝煙火工業の代表取締役社長に昨年就任した本田和憲さん(三之町在住、第40回鳳凰会)に語っていただきました。

以前からどう仕掛けていこうかと地元で集まっては企画を温めていました。そこへコロナ禍で多くの花火玉が倉庫に保管されたままとなり、何とかできないかと始めたのが片貝煙火サポーターズ倶楽部(102号・105号など参照)です。こうして奉納花火に代わり、あるいは自分ならではの花火を揚げたいという県外を含む皆さんの願いに応える形で、ひと味違う花火を実現できました。

■生い立ちと仲間とのきずな

幼い頃から片貝の花火を見てきましたが、片貝の花火を受け継いでいくために祖父の善治が立ち上げた会社に父の正憲(前社長、現会長)が加わるまでは父が県外で働いていた関係で、中学2年で片貝中に転入しました。豊中市(大阪)のマンモス校からだったので違いに驚きもありましたが同級生どうし支え合いながら歩んできました。

■四季折々の花火を片貝の夜空に

「花火と職人のまち」を掲げながら賑やかに人々が集い花火が揚がるのは年に2日きり。お祝いでも供養でもっと節目に合わせて花火を打ち揚げたいとの声から、また四季の風情などの趣向を凝らした花火を年じゅう楽しんでほしいとの思いから、

明日の花火と郷里をつくる



■これからの抱負

苦境の中での社長就任ですが各地の花火と競いつつ、昨年立ち上げた「片貝花火むすめ」(=写真)などを通じて、片貝らしい意気を見せていきたいです。さらに中学校同窓会、商工振興会、それに同級生でもある議員の支援など、郷里を背負っていく立場からも地元片貝の皆さんと手を取り合って、また東京片貝会の皆さんとも交流を深めていって、よりよい片貝町を築くのに貢献していきたいです。

「雪国で手塩にかけて作った”白い宝石”」

米どころ雪国おぢやでつくられた”魚沼産コシヒカリ”清らかな水と肥沃な土地で丹精込めて作った逸品です。おいしさと安心を追求した黄金色の稲穂から精米された”白い宝石たち”その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼産ブランドの名にふさわしい逸品です

詳細は ⇒ JA越後おぢや 検索 JA 越後おぢや 〒947-0031 新潟県小千谷市土川1-12-25 ☎0258-83-3425

夜空にロマンを

世界一 四尺玉 有限会社 片貝煙火工業 代表取締役 本田和憲 〒947-0101 新潟県小千谷市片貝町6529-1 ☎ 0258-84-2076 FAX 0258-84-3516 http://www.katakai-enka.co.jp

4駅6路線から徒歩圏の便利な立地。どなたでもお泊りいただけます



〒102-0084 千代田区二番町2 TEL 03-5210-4600 FAX 03-5210-4644 mail tokyogp_front@sunroute.jp H.P https://www.tokyogp.com/

母校を励ます会 お知らせ

温かいご支援、ありがとうございます

毎年50歳記念行事を迎える同級会にご尽力いただきつつ、苦しかったここ3年を含めて教育講演会をおかげ様で長いこと欠かさず開催してきています。

この秋の教育講演会の講師依頼に当たっていただいた希進会の安達慎介会長より「中学校を卒業して30余年、夢を追い地元を離れた友とのつながりを改めて確かめ合う節目の今年、良き機会をいただきありがとうございます。東京片貝会の皆様をはじめ先輩がたの母校とふるさとへの尊い想いを同級会の仲間たちと共有してこそ、今を学ぶ児童・生徒たちの貴重な時間をより良いものにできるものと思っております。」とのコメントを頂戴しました。皆様のご協力に感謝いたします。

====

【母校を励ます会基金ご協力者名】

(敬称略) (令和4・11~令和5・3)

阿部修次(21)、山本文子、大塚順一(22)、長岡

利夫(23)、藤塚文頭、佐藤祐一、松岡規子、石橋行夫(27)、黒崎 勝、安達 隆(28)、宮下愛子、松本キイ、横田房枝(29)、安達 弘之(30)、黒瀬良子、大塚國夫、小宮善興、小野塚 清、藤塚 悟(31)、諸我時夫(32)、大塚功績、安達弘(33)、工藤イツ(35)、本田秀幸、吉原敏明(37)、芝 強、吉井邦男、本田和美、小野塚和夫(38)、相崎俊夫(40)、安達 徹、阿部 清、栗原知子(41)、安達亮一、勝又一司(42)、藤塚 弘、内藤富美子(43)、松井正之(46)、高野昭人(47)、藤塚伸雄、櫻井綾子、深江久美子(48)、徳永隆浩(52)、堀井ひとみ、安達良喜(54)、山口昌幸(55)、佐藤潤(55)、相崎清輝(57)、友田 啓(58)、名塚孝雄(H1)

町のできごと

■片貝クラブが全国V

第34回全国健康福祉祭ねりんピックかながわ大会のゲートボール交流大会で片貝クラブが優勝した。6年ぶり2度目の出場で、出場132チームの頂点に輝いた。新潟県勢としても初の快挙。

第41回教育講演会

開催(予定)のご案内

(最新情報はホームページでご確認を)

日時 10月20日(金)午後2時~

場所 片貝中学校体育館

講師 安達美紀様(八島出身 希進会)

略歴 片中卒業後、長岡岡陵高校、東京コミュニケーションアート専門学校グラフィック科を卒業。デザイン事務所ポタージュを経て、東京デザインフェスタに作品を発表したのがきっかけでアディダスジャパン(株)に入社。出産・育児のための休職や在宅勤務を経つつデザイン業務に携わる。現在はナカバヤシ(株)商品企画部でパッケージデザインを担当。

講演概要 好きと趣味と仕事の違いについて思うこと、コミュニケーションの大切さ、これからの男女の働き方、故郷を持つとは、などお話しいただく予定です。

小千谷市スポーツ協会の令和4年度優秀選手賞も受賞した。

メンバー(敬称略)は、安達博栄(五之町)、浅田實(五之町)、相崎修司(四之町)、相崎三津子(四之町)、藤塚厚子(町裏)、大西良子(一之町)。

ちょこっと話題

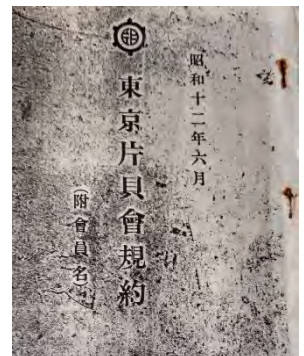
昭和12年6月発行「東京片貝会規約」が保存されています。こんな記載があるので会の歴史を振り返りつつご紹介いたします。

東京片貝会は、大正13年に設立された母校の同窓会に合わせて東京支部が昭和初期に結成されたのが始まりである。東京に出て働く郷里の人びとの心のより所として歩んできた。そんな戦前の会の活動の様子を規約第1条~第15条からなるこの冊子が伝えてくれている。

その後、戦中戦後の混乱を経て改めて名簿が作られ、次いで総会開催、本会報の発行と今日につながっている。こうして先達の遺してくれた歴史を明日への道しるべに、これからも東京片貝会がお互いひと息つける場であり続けてほしい。

さて、昔の会規約の表紙(=写真)のとおり「附會員名」とあり当時の31名の会員氏名も収められている。ここには会員の片貝での生家を通称(屋号)で付記してあるのでご紹介したい。

- ・大屋敷 ・綿屋
- ・一の丁 ・線香屋
- ・寺町 ・勘兵工
- ・二の丁 ・山茂
- ・茶畑 ・要助、権佐ヱ門
- ・三の丁 ・住七
- ・山の湯
- ・稲場 ・六兵工、忠兵工、権次郎、七次郎、惣次郎、清忠、善七
- ・四の丁 ・木の下、三太郎、文蔵、新野、清四郎、重次郎
- ・八島 ・庄右ヱ門、五右ヱ門、仙五郎、金作、惣助、権助



(阿部修次様提供)

私たちは、お客様のハコぶと演出、そして想いをかたちにする集団です!

段ボール・プラ段・花火玉皮...

フーゲツ 検索

段ボール製家具・道具...

段屋風月 検索

小千谷市片貝町2489-1
電話0258-84-4141

大きな家庭で安心生活
グループホーム
(高齢者福祉施設)

安心の里いこう

代表取締役
高波(旧姓・横山)国男
(昭35年卒・池津)
足立区西伊興3-7-2
03-3856-6541(老後良い)
ansin_ikou@yahoo.co.jp



吉原印刷株式会社
もっとお客様のために

【本社】
〒940-1164 長岡市南陽2丁目949-13
TEL0258(23)1155 FAX0258(23)1115
【東京営業所】
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷4-3-27
青山コーポラス402号
TEL03(5468)6090 FAX03(5468)6012

江戸前

金寿司

本田司(飛翔会)

小千谷市片貝町5037-1
TEL 0258-84-2342

ふるさと・は・今 令和4年11月より 令和5年4月まで

母校近況

■小学校 長井教頭先生

【もみのキッズ学びランド】

11/12(土)に、新型コロナウイルス感染症の密を避けるため、1・2年、3・4年、5・6年の3つの部に分けて、入れ替え制で発表しました。1年生は「合唱・合奏・縄跳び」、2年生は「音読・クイズ・劇」、3年生は「合奏・合唱・ダンス・手話」、4年生は「暮らしと水をテーマにした劇」、5年生は「片貝伝統芸能の合奏・合唱」、6年生は「片貝花火をテーマにした劇」を発表しました。それぞれ息の合った合唱・合奏を披露したり、片貝町の伝統や地域の良さを中心に調べ活動を行い、子どもたちが考えたセリフと動きを取り入れて、会場の保護者や地域の方々に伝えたりしていました。片貝町の良さや魅力が伝わる学習発表会になりました。

【東校舎大規模改修 終了】

6月から始まった大規模改修が12月に終了しました。12/3(土)には、職員・子ども・保護者が協力し、引っ越し作業をしました。その後、5・6年生が中心となって、教室の引っ越しや掃除を行いました。小千谷市の学校施設整備の方針で、木質化を重点にしてくださっているので、木材をふんだんに使った造りになりました。「やっぱり、新しいとうれしい!」「木がいっぱい使ってあって温かい感じ!」…そんな声がたくさん聞こえてきました。



また、職員玄関に飾ってあった当校のシンボル「片貝校」は、樺の分厚い1枚板でできています。今回の引っ越し作業で、裏には寄贈してくださった同和会49人もの方々の名前が書かれてあることがわかりました。

学校の歴史の重みを、改めて感じたところです。

【六年生を送る会】

児童会主催の「六年生を送る会」が行われました。昨年度は、オンラインでの実施でしたが、今年は全員が南運動場に集まって、実施することができました。5年生が中心になって決めたスローガン「いつもやさしいないる学年 今までありがとう 中学校に行ってもがんばれ!」のもと、それぞれの学年が、卒業生「なないろ学年」に感謝の気持ちと卒業おめでとうの気持ちを届けました。5年生の進行で、1年生「ダンス発表とプレゼント紹介」、2年生「始めの言葉とダンス発表」、3年生「ありがとうコールと寸劇」、4年生「紐引きとくす玉割り」、5年生「木遣天舞」を披露しました。それぞれの学年の発表に対して、感謝の気持ちを込め、6年生が「ダンス発表とお礼の言葉」でお返しをしました。6年生の子どもたちは、「自分たちのために、どの学年もがんばってくれたことがうれしかった。」「アンコールがきて、全校のみんな、先生たちも一緒に踊ってくれてうれしかった。」と感想を話してくれました。それぞれの学年にとって、いい思い出になりました。

■中学校 皆川教頭先生

片貝中学校令和4年度後半の様子を紹介いたします。11月の「ふるさと学習発表会」では、1年生は、「木遣り」について伝統芸能保存会の皆様から教えていただき、「奉納木遣り」を歌いました。2年生は、「片貝の歴史」についてグループごとでテーマを決めて学習してきた成果をスライドにまとめ、「片貝の歴史クイズ」「佐藤佐平治について」「朝陽館・耕読堂について」の3部構成で発表しました。3年生は、片貝の魅力を発信する観光案内をスライドにまとめました。発表会本番は、観光客を案内するように身振り手振りを交えながら、片貝の魅力を発表していました。各学年の学習を通してふるさとへの愛と誇りをもつことができました。

第76回卒業生「絢爛会」が卒業し、29名の新入生を迎え、全校生徒91名で令和5年度がスタートしました。生徒は、学習や部活動に一生懸命取り組んでいます。

令和5年記念行事の同級生 (中学校卒業回)	
20歳	橙心会 (第71回)
33歳	咲舞会 (第60回)
42歳	嚙聖会 (第50回)
50歳	希進会 (第42回)
還暦	緑翼会 (第32回)

■先生方の人事異動

片貝小は、須玉研一教頭先生が燕・栗生津小へ転出され、後任に長岡・青葉台小から長井茂先生が赴任された。また、片貝中は佐藤壮教頭先生が長岡・旭岡中に転出され、後任に長岡・関原中から皆川祐介先生が赴任された。須玉先生、佐藤先生ありがとうございました。また、お祭りなどでお会いしましょう。長井先生、皆川先生よろしくお願ひいたします。

■4月1日現在の児童・生徒数

▽片貝小=①28、②24、③20、④22、⑤36、⑥32、計162(3減)
▽片貝中=①29、②36、③26、計91(4減)
(○数字は学年、増減は令和4年5月1日比)

会員 訃報

- ◆吉原榮一様 (昭22 緑友会)
- ◆石上俊夫様 (昭24 講春会)
- ◆木下 伸様 (昭29 伸友会)
東京片貝会の会計幹事を歴任
- ◆太刀川三雄様 (昭35 慰十六会)

編集後記

約3年にわたって続いた新型コロナウイルス感染症による制約もなくなり以前の日常が戻ってきました。6月の総会は制限を設けることなく開催いたします。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

広報担当 徳永・小林・安達・相崎
news@tokyo-katakaikai.net

◆—◆—◆

創刊 昭和38年
年2回(6・12月)刊
発行 東京片貝会